なないろ大倉山事業所自己評価シート

2025（令和 7）年度

職員による自己評価

A環境面
・換気や清掃、消毒を行い清潔な環境に気をつけている。
・子どもたちが安全に楽しく活動できる環境づくりを心がけている。

B児童への支援内容
・朝礼やミーティングを適宜行い、一人ひとりに合わせた支援を行っている。
・子ども達の自立につながるように様々な活動を取り入れ、楽しめるようにしている。

C関係機関との連携
・学校等の関係機関と情報交換しながら連携を図っている。

D保護者への説明責任・信頼関係
・送迎時や連絡帳、電話などでその日の様子を細かく共有している。
・相談や申し入れがあった場合は面談や電話、書面等で丁寧に行っている。

E非常対応
・年に２回以上の避難訓練の実施や内部研修を定期的に行っている。

保護者による評価

A環境面
・活動スペースは十分確保され、活動内容によってパーテーションを活用している。

B児童への支援内容
・毎回活動プログラムが工夫されていて子どもの意見も取り入れている。

C事業所からの情報発信
・SNS（Facebook）やなないろ通信で日々の活動様子が確認できる。
・電話や連絡帳、送迎時での共有ができている。

D非常対応
・災害時の避難場所や対応方法の説明がある。
・災害時の避難方法を学ぶことで見通しが持てるようになってきている。
・避難訓練を行うことで訓練の重要性がわかるようになってきた。

事業所内での分析

【共通点】
・個別の活動だけでなく、子ども達同士大勢で遊ぶ機会が多くある。
・一人ひとりにあった支援プログラムを行い、整った環境の中、安心して過ごすことができている。
・保護者様と事業所で送迎時や連絡帳を用いて、情報の共有が出来ている。

【相違点】
・放課後児童クラブや児童館のとの交流や、障がいのない子どもと関わる機会があるのかわからない、ないのではという意見が多くあった
⇒直接的な交流はないが公園や地域のイベントで近隣の子ども達と関わる機会はある。

分析・検討してみて…

事業所の強み

・事業所環境面において、安全対策及び支援教材等が整った中で、利用者様が支援を受けることが出来る。

・事業所横に緑道があり、春には桜、夏秋には色々な虫がいたり、季節感が感じられる様になっている。

・子ども達の意見を取り入れながら支援できている。

事業所の改善点

・各関係機関との交流を深め情報収集を強化していく。

・地域のイベントに参加し、地域との交流をより深めていく。

・対人関係のスキルを身につけられるよう、支援内容をさらに充実させていく。思いやりのある言葉の使い方や、相手に伝わる態度について学べる機会を設けていく。

事業所の改善への取り組み

・外部研修等の機会をさらに増やしていき知識や対応力を高められるよう取り組んでいく。

・保護者様、各関係機関とさらに連携をとり、より安定した支援を心がける。

・周辺地域のイベントに参加していき、地域や外部の人々との交流を増やしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

評価表へのご協力、誠にありがとうございました。
皆様からいただいたご意見を大切にし、今後の支援の改善へとつなげてまいります。
「子ども達が楽しみにしている」とのご意見を多くいただきました。これを励みに、今後も多彩な活動プログラムを取り入れ、保護者の皆さまや利用者の方々の満足度向上を目指して、より良い支援を提供して行きます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

事業所名　放課後等デイサービスなないろ大倉山
担 当 者　青戸　幸代